

はじめに

大阪府立羽曳野支援学校は、大阪はびきの医療センターに隣接する本校と、大阪急性期・総合医療センター、大阪母子医療センター、堺咲花病院、大阪労災病院、近畿大学病院、阪南病院の6つの病院の分教室、そして他の病院や自宅に訪問して教育を行う訪問教育があります。

在籍する子どもは、それぞれの病気に向き合いながら、毎日の学校生活に一喜一憂しつつ、ひたむきに学んでいます。その懸命に努力する姿は、時に折れそうになる気持ちやはじめて発見するような驚きなどの様々な表情を、病院の医師・看護師さんと教職員に垣間見せつつ、前籍校に戻るまでの期間、やはり「ひたむきに」頑張り続けています。

子どものそのようなたたずまいや表情を見るにつけ、私たちは、病院や前籍校の方々、そして、福祉機関等の方々との協力・連携関係に最大限の努力を払うとともに、学習指導や生活指導を充実するように精進しなければならないと考えます。

その努力の一端として、平成15年度に、医療機関のご協力をいただき、「病気の理解のために」を作成しました。

その後、大阪はびきの医療センターの皆さまの献身的なご協力を得て、気管支喘息・食物アレルギー・アトピー性皮膚炎・結核をテーマにし、「病気の理解のためにⅠ」として改訂・発行しました。

この冊子が、本校だけではなく、小学校、中学校、高等学校等で学ぶ病気の子どもに対する適切な理解の一助となり、また、本校に在籍する児童生徒が前籍校に円滑に戻るため参考になるよう、心から願います。

大阪府立羽曳野支援学校 校長